



2021-2022 年度
国際ロータリー第 2530 地区県北第一分区
新会員オリエンテーション

報 告 書



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



RI2530 地区 県北第一分区 2021-22 年度
新会員オリエンテーションプログラム

2022 年 4 月 2 日 (土) 14 : 30 ~

場 所 クーラクーリアンテ

司会 ホストクラブ幹事 赤間浩一(福島南 RC)

【開会セレモニー】

14 : 30 開会点鐘 ホストクラブ会長 一 條 浩孝(福島南 RC)
国歌斉唱
ロータリーソング「奉仕の理想」 ソングリーダー (福島南 RC)
会長あいさつ ホストクラブ会長 一 條 浩孝(福島南 RC)
講師及びパストガバナー紹介
及びガバナー補佐あいさつ 県北第一分区ガバナー補佐 佐藤 宗弘(福島西 RC)

【第一部】 講 義

14 : 50-15 : 30 (40 分) 「ロータリーの基本」
講 師 国際ロータリー第 2530 地区
パストガバナー 平井 義郎 様

《休 憩 10 分 15 : 30-15 : 40》

【第二部】 新会員による発表 (新会員全員)

15 : 40-16 : 40 (60 分) 本日の講義を受けての感想やロータリークラブについて
思う事など一言発表をお願いします (2 分~3 分)

【閉会セレモニー】

講 評 国際ロータリー第 2530 地区
パストガバナー 大橋 廣治 様
ガバナー補佐あいさつ 県北第一分区ガバナー補佐 佐藤 宗弘(福島西 RC)
講師への記念品贈呈 県北第一分区ガバナー補佐 佐藤 宗弘(福島西 RC)
16 : 50 閉会点鐘 ホストクラブ会長 一 條 浩孝(福島南 RC)

諸事お知らせ ホストクラブ幹事 赤間 浩一(福島南 RC)

ホストクラブ全員でお見送り

ホストクラブ会長挨拶
福島南ロータリークラブ
会 長 一 條 浩 孝



本日は司会の方からも説明がございました通り、急遽プログラムを変更させていただくこととなりました。皆様には大変ご迷惑をお掛けすることになりましたこと、まずはお詫び申し上げたいと思います。コロナの感染状況が未だ改善の兆しが見えないなかでの開催でございますので、どうかご理解賜ればと思っております。

本日は新会員オリエンテーションということでございますが、まずは冒頭その目的とするところにつきまして、マイロータリーに記載されておりましたので、ご紹介させていただきたいと思っております。「新会員の皆さんが既にお持ちであるロータリーについての知識を土台にして、ロータリーへの理解をさらに深めてもらい、新会員の皆さんが抱えている質問に答えることを目的としています。」と、このように記されています。

つまり一つは「ロータリーへの理解を深めていただく」こと、二つ目が「皆さんが抱えている疑問にお答えする」ということが新会員オリエンテーションの目的であるということになります。

本日は一つ目のロータリーへの理解を深めていただくため、平井パストガバナーに講師をお務めいただくことになりました。平井パストガバナーにおかれましては、お忙しいなかお引き受けいただきまして本当にありがとうございます。そして二つ目の新会員の皆さんの疑問にお答えする、という時間がグループ討議であったわけですが、今回はこれに代えて新会員の皆さんのご意見をお聞きかせいただく機会とさせていただきました。

新会員オリエンテーションは入会 3 年未満の方が対象となっておりますけれども、本日もご参加いただきました皆さんは、既に立派な企業の代表者、あるいは要職に就かれていらっしゃる方ばかりです。むしろ機会があれば私の方こそビジネスにおいても、ロータリーのことにつきましても、いろいろと教えていただきたいことばかりです。ロータリーのことについては逆ではないか、と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、そうでもありません。今、ロータリークラブは残念ながら会員の減少に悩んでいます。減少することは辞める人よりも入る人の方が少ないということです。何故辞める人が多いのか、何故入る人が少ないのか、それぞれに原因があるはずですが、もしかすると原因は共通しているのかもしれません。私たちはこの原因をきちんと捉え理解して、これから入会していただく方を増やすためにも、それを活かしていかなければなりません。

これから入会してくる皆さんと、ここにいらっしゃる新会員の皆さんとは、様々な面で共有されている部分が多いはずですが、皆さんのご意見はとても貴重なものだと思っております。私もそうでしたが、恐らく多くの新会員の皆さんは、どなたかに誘われて入会されたのだと思います。そして誘われたとき、一瞬でも迷われたはずですが、その躊躇された理由とは何だったのでしょうか？

その後皆さんは入会しようと決心されました。その時、ロータリーってこんなところなんだらうなとイメージされたはずですが、そしていざ入会されたのち、ご自身が抱えていたイメージと現実との相違はなかったのでしょうか？いいと思われたことも、そうでないことも率直に本日の第二部のなかでご意見いただければありがたいと思っております。

今日はこの新会員オリエンテーションが新会員の皆さんにとって素晴らしい学びの機会になること、そして私たちにとりましても新会員の皆さんから学ばせていただくことで、これからのロータリークラブがよりよいものとなるよう、活動のなかに活かしていく、そのような機会となれば幸いですと思っております。

それでは、今日はここにいらっしゃる全ての皆さんで共に学んで参りましょう。短い時間ではございますが、どうぞよろしく願いいたします。

主催者挨拶
国際ロータリー県北第一分区
ガバナー補佐 佐藤 宗弘 (福島西 RC)

2021-22 年度県北第一分区新会員オリエンテーション開催にあたり一言御礼と御挨拶を申し上げます。

本日は何かとご多忙の処、県北第一分区内 7 クラブの新会員の皆様をはじめ、役員の皆様にご登録を頂き、コロナ禍において感染拡大防止対策を図りながら開催できますことを心から感謝申し上げます。また、ロータリアンそしてご家族の皆様におかれましては、新型コロナウイルスをはじめ、福島県沖を震源とする地震等、人災・天災に見舞われる厳しい状況が続いておりますが心を強く、前を向いていただくことを心より願っております。

さて、新会員の皆様には、ご入会前に推薦人より、またご入会後はクラブ内において先輩からロータリーの知識をご指導いただいておりますことと存じます。本日のオリエンテーションは、皆様方にロータリーを広く知り、ロータリーに興味を持って好きになっていただきたい、そして、これから先輩・仲間とロータリーの活動に積極的に参加を重ねることでロータリーを楽しめるようになるきっかけになって欲しいとの目的で開催するものであります。

ロータリーが設立された 1905 年から現在に至るまで、ロータリーはその時代時代における社会情勢や環境の変化に柔軟に対応して参りました。世界大戦や世界恐慌、最近ではリーマンショックや東日本大震災等々幾多の困難に直面した時も、その都度、先達ロータリアンの皆様のご尽力により克服してきたからこそ現在のロータリーがあります。こうした中で、農業大国で、技術的・戦略的に大きな重要性をもつ国、ウクライナ。歴史的に波乱に満ちたこの国では、2月に勃発したロシアとの戦争が日増しに激しくなっており、ヨーロッパで第二の面積を誇るこの国でのロータリーの未来を世界中の会員が憂慮しています。しかし、この混乱の中でも、ウクライナのロータリー会員は強靱性と平和への揺るぎない決意を示しております。戦闘が激化する中、現地でのロータリーの状況、また世界中のロータリークラブによるウクライナ支援の現状について、現地の方々からの報告が My Rotary に寄せられておりますので、ご一読いただければと思います。

本日の新会員オリエンテーションは「ロータリーの基本」というテーマで講師には RID2530 パストガバナー平井義郎様にご講演をお願いしております。そののち、新会員の皆様方に抱負等を述べていただきます。例会出席やクラブでの奉仕活動に積極的に参加することの重要性、そしてロータリーを楽しむことの大切さなどを学び、本日は残念ながら他クラブ会員との懇親を深めることはできませんが普段の例会では得られないロータリーの魅力を実感していただければ幸いです。

結びに、この会を準備していただきました松崎実行委員長はじめ、一條会長率いる福島南 RC 会員の皆様、そしてクーラクーリアンテサンパレス様に心から御礼を申し上げ御挨拶とさせていただきます。



【第一部】 講義

「ロータリーの基本」

講師 国際ロータリー第2530地区

パストガバナー 平井 義郎 様



今日は、ロータリーの基本ということでお話をさせていただきます。これは、国際ロータリーのホームページの中のラーニングセンターにある資料を取りました。国際ロータリーでは、こういった資料を使って皆さんに自信をつけさせるということになっております。非常に多岐にわたる資料が入っておりますので是非ご覧になっていただきたいと思います。

	<p>ロータリーへようこそ！</p> <p>ロータリーは</p> <ul style="list-style-type: none">・変化をもたらすことを望み・120万人の会員を擁し・未永く続く友情を築き・自らの成長を遂げ・ロータリーでつながりを築き・変化をもたらすための機会です 
<p>ロータリーのインパクト</p> <p>リソースと才能を寄せ合い、熱意をもって一緒に取り組むことで、一人ではできないことよりもはるかに大きなことを成し遂げることができます。</p>	<p>ロータリーのインパクト</p> <p>私たちはロータリーでつながります。</p> <p>ロータリークラブはさまざまな文化的背景をもつ人びとが集まり、アイデアを交換し、友情を培い、それぞれの職業的スキルや知識を生かし、変化をもたらす活動を行っています。</p>
<p>ロータリーのインパクト</p> <p>アイデアや意見を交換しあうことで、会員はリーダーシップを磨くとともに、力を合わせて問題を解決します。</p>	<p>ロータリーのインパクト</p> <p>私たちは多様な観点で考えます。</p> <p>ロータリーでは、多様な職業や専門分野の会員がそれぞれの才能を生かし、またリーダーシップを発揮して、ユニークな方法で地域社会の課題に取り組んでいます。</p>
<p>ロータリーのインパクト</p> <p>世界中の地域社会で、会員は人びとの生活の質を向上させる奉仕プロジェクトに取り組んでいます。</p>	<p>ロータリーのインパクト</p> <p>ロータリーで自らも成長できます。</p> <p>ロータリーでは、さまざまな職業の人との交流と意見交換を通じて視野を広げることができます。</p> <p>クラブの例会やプロジェクト、募金活動や交流行事など、人として、また地域社会やグローバル社会のリーダーとして、自分の見識とスキルを向上させる多くの機会が得られます。</p>
	<p>クラブ</p> <p>ロータリークラブ、地域社会、世界で積極的に活動するためのアイデア</p> <p>クラブ例会の計画 (主題や議題の調整) クラブリーダーへの就任 (各クラブに会長その他のリーダーがいます) メンタリング (ほかの会員への助言提供、または助言を受けること) クラブ行事の開催 (募金行事や交流行事など)</p>

地域社会

ロータリークラブ、地域社会、世界で積極的に活動するためのアイデア

地元の奉仕プロジェクトへの参加
(実地参加や資金援助)

地元の若い人たち向けのプログラム支援
座談会調査やインタビュー調査による地域社会調査の実施

ロータリー地域社会共同隊
クラブと協力する地元有志グループの結成

世界

海外からのロータリー青少年交換学生の受入れ

ロータリークラブ、地域社会、世界で積極的に活動するためのアイデア

ポリオ撲滅活動のための全国予防接種活動 (N I D) への参加

ロータリー親睦活動やロータリアン行動グループへの参加 (趣味や職業ごとにある)

国際奉仕プロジェクトへの参加

ロータリーのビジョン声明

ロータリーでは、クラブとつながり、地元の地域社会や世界とつながる多くの方法があります。

ロータリーでの経験を最大限に高めるために、自分の関心や情熱と合致する方法を探してみましよう。

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

ロータリーのしくみ
会員、クラブ、地区、ゾーン

ロータリーは、世界各地で活動する会員 (通称「ロータリアン」) によって構成されています。会員はクラブに所属し、各クラブに毎年交代する役員がいます。クラブが集まって地区が形成され、さらに地区が集まってゾーンを構成しています。



ロータリーには35,000以上のロータリークラブがあります。クラブは、世界に530ある地区に所属し、また、地区は34のゾーンに組み込まれます。

ロータリーのしくみ
会員、クラブ、地区、ゾーン

ローターアクトクラブは、18歳以上の人が集まって、地域社会のリーダーと意見交換したり、リーダーシップと専門的なスキルを育みながら、楽しく奉仕活動を行います。

ロータリーとローターアクトの会員は、世界各地で奉仕を通じて共に行動しています。大都市から僻村まで、ローターアクトはさまざまな地域社会で変化をもたらしています。

203,298	ローターアクト数
10,698	ローターアクトクラブ数
180	ローターアクトクラブがある国の数

国際ロータリーの世界本部



国際ロータリー世界本部 (米国ワシントン州エバンストン) には、国際ロータリー会長の部屋があります。会長は1年任期で、国際ロータリー (RI) 理事会の議長となります。

1987年、国際ロータリー中央事務局としてエバンストンに移転。1990年国際ロータリー世界本部 (ワシントンロータリーセンター) となりました。

国際ロータリーの国際事務局

国際事務局は世界に6つあります。

- ・ ニューデリー (インド)
- ・ パラマタ (オーストラリア)
- ・ サンパウロ (ブラジル)
- ・ ソウル (韓国)
- ・ 東京 (日本)
- ・ チューリッヒ (スイス)



グレート・ブリテンおよびアイルランドの国際ロータリーは、当該地域で別の運営ユニットを構成しています。

参加しよう

地区行事は、ほかのクラブの会員と会う機会となります。

ロータリーでは、自分の関心とスキルに応じて、クラブ、地区、海外のいずれのレベルでも活動することができます。

ロータリーとしての役割を担うことで、職業にも役立つスキルを磨くことができます。

ロータリーの国際的ネットワークを通じて、奉仕を実践し、世界中の人たちとつながることができます。

ロータリアンとなるための基準

- ・ 善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示している成人。
- ・ 職業上または地域社会でよい評判を受けている。
- ・ 地域社会または世界において奉仕する意欲がある。

あなたがロータリアンになれたのは推薦によってクラブの会員全員が賛同したということをお忘れなくしましよ

ロータリアンとなるための基準

心から友人のことを愛せるのであれば、わが友よ、あなたにはロータリアンとなる見込みがあるのです

ロータリー創設者、ポール・ハリス (1933年)

Rotary 第2530地区

ロータリーの価値観

奉仕
ロータリーには、「超我の奉仕」という標語があります。

写真：ローターアクトとロータリアンによるプロジェクトの一環で、マンガロープの植樹を行う会員。このプロジェクトは、環境システムの改善とハリケーン被害からの回復を目的としてバハマで行われました。

中核的価値観

- ・奉仕
- ・リーダーシップ
- ・親睦
- ・多様性
- ・高潔性



Rotary 第2530地区

ロータリーの価値観

リーダーシップ
ロータリーでは、リーダーシップのスキルを伸ばし、世界で良いことをするためにそのスキルを発揮することを重視しています。

写真：トロントで開催されたロータリー国際大会で、ロータリーの未来について話をするローターアクト。

中核的価値観

- ・奉仕
- ・リーダーシップ
- ・親睦
- ・多様性
- ・高潔性



Rotary 第2530地区

ロータリーの価値観

親睦
ロータリーでは、社会のためになることをしたいと望む人たちが集まって、地域社会に変化をもたらすことを通じて、生涯にわたる友情を築いています。

写真：ロータリー国際大会で一緒に楽しい時間を過ごすロータリアン。

中核的価値観

- ・奉仕
- ・リーダーシップ
- ・親睦
- ・多様性
- ・高潔性



Rotary 第2530地区

ロータリーの価値観

多様性
ロータリーでは、多様な文化や考え方を尊重しています。

写真：ヤングリーダーサミットに参加したロータリー会員。

中核的価値観

- ・奉仕
- ・リーダーシップ
- ・親睦
- ・多様性
- ・高潔性



Rotary 第2530地区

ロータリーの価値観

高潔性
優れたリーダーとなるために、ロータリーでは高潔性を重んじています。

写真：産科病院を設置するプロジェクトについて話をするスリランカとドイツのロータリー会員。

中核的価値観

- ・奉仕
- ・リーダーシップ
- ・親睦
- ・多様性
- ・高潔性



Rotary 第2530地区

基本理念

奉仕部門

四つのテスト

ロータリーの目的

Rotary 第2530地区

奉仕部門

ロータリーでは、クラブ活動の土台となる5つの奉仕部門を通じて、地域社会や海外での奉仕に力を注いでいます。

Rotary 第2530地区

クラブ奉仕

5つの奉仕部門
クラブ奉仕
職業奉仕
社会奉仕
国際奉仕
青少年奉仕

クラブ強化に焦点を置き、会員同士の関係を育み、リーダーシップを発揮してクラブ目標の達成を目指します。

Rotary 第2530地区

職業奉仕

5つの奉仕部門
クラブ奉仕
職業奉仕
社会奉仕
国際奉仕
青少年奉仕

すべてのロータリアンが倫理と高潔さをもって、職業の知識やスキルを社会のために役立てます。

Rotary 第2530地区

奉仕部門

5つの奉仕部門
クラブ奉仕
職業奉仕
社会奉仕
国際奉仕
青少年奉仕

社会奉仕では、地域の人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することがロータリアンに奨励されています。

初期の奉仕プロジェクト

シカゴ・ロータリークラブは、シカゴの衛生環境を改善するため、公衆トイレ設置の必要性について話をするため、市民団体との会合を行いました。



**1910
全米ロータリークラブ連合会**

1910年8月、米国内の16のクラブによって全米ロータリークラブ連合会（現在の国際ロータリー）が結成され、ポール・ハリスが初代会長に選出されました。



**1912
国際組織へと成長**

1912年4月、カナダのウィネベグでロータリークラブが加盟し、ロータリーは国際組織となりました。これに伴い、組織名はロータリークラブ国際連合会に改名され、さらに1922年に現在の国際ロータリーとなりました。



ロータリー財団の始まり

ロータリーの1917年大会で、当時の会長だったアーチ C. クランフが「世界でよいことをするための」恒久的な基金の設置を提案しました。それが今日のロータリー財団です。
標語：世界でよいことをしよう (Doing good in the world)

1947
最初のロータリー財団プログラム
ロータリー財団の最初のプログラムは、大学院留学のための奨学金支援でした。ロータリーはその後も支援を継続し、このプログラムは「国際親善奨学金」や「ロータリー奨学生」といった名称で知られることとなります。

**1957
ロータリー初の寄付者認証プログラム**

財団に対する寛大な寄付者を称える目的で、1957年、ポール・ハリス・フェローの認証プログラムが開始されました。



**1962
インターアクト**

1962年11月、米国フロリダ州のメルボルン高等学校で最初のインターアクトクラブが設立されました。インターアクトは、12～18歳の中学・高校生がリーダーシップを磨くことのできるプログラムです。

Interact 

**1968
ローターアクト**

1968年3月、米国のノースカロライナ大学シャーロット校で最初のローターアクトクラブが設立されました。ローターアクトは、18歳以上の若い人のためのプログラムです。

Rotaract 

**1979
ロータリーとポリオとの闘いが始まる**

フィリピンの子どもたちに予防接種を提供する複数年の補助金プロジェクトが実施され、それがロータリーのポリオ根絶活動の始まりとなりました。

ポリオを根絶する五つの理由
1. 犠牲となる子供をなくす
2. 根絶は可能
3. 未来への投資
4. システムの強化
5. 公共保健活動のモデルとなる



**1985
ポリオプラスが開始**

予防接種を通じたロータリーのポリオ撲滅活動を支えるため、ポリオプラスが立ち上げられました。ポリオ撲滅は、今日もロータリーの最優先活動となっています。



プラスとは、ポリオのほかハンカ、ジフテリア、結核、破傷風、百日咳の五つの主要伝染病をプラスして同時追放を目的としているという意味。

**1987 & 1989
ロータリーにおける女性**

1987年、米国最高裁による判決を受け、米国中のロータリークラブで女性が入会できるようになりました。さらに1989年、ロータリー規定審議会での採択後、世界中のクラブで女性が入会できるようになりました。

THE ROTARIAN



WOMEN—
are they changing Rotary?

ロータリー財団

ポリオ撲滅

ポリオの撲滅は、ロータリーにおける最優先事項の一つです。1979年以来、ロータリー会員は、子どもたちへの予防接種活動に参加し、多くの時間と労力を捧げてきたことに加え、各国の政府高官に呼びかけてポリオ撲滅のための政府支援を引き出してきました。ロータリーは、世界保健機関（WHO）、米国疾病対策センター、UNICEF（国連児童基金）、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団とともに世界ポリオ撲滅推進計画の主要パートナーとなっており、各国政府と協力してポリオのない世界の実現を目指しています。

ロータリー財団

補助金

ロータリー財団では、人道的プロジェクト奨学金プログラム職業研修チームのための補助金を提供しています。この資金は、会員やその他の支援者から財団に寄せられるご寄付から成るものです。

補助金には、グローバル補助金と地区補助金があります。

グローバル補助金は、ロータリーの7つの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援します。

地区補助金は、地元や海外の地域社会のニーズに取り組むための、比較的規模の小さい、短期的な活動を支援します。

ロータリー財団

病院の再建

スリランカでは、2004年の津波被害を受けた産科病院を支援するため、第1950地区（ドイツ）とコロンボ・ロータリークラブ（スリランカ）が、地元の他団体と協力して病院施設の一部を再建しました。

ロータリー財団

看護師のスキルアップ研修

職業研修チームの派遣を通じて、看護師を対象とするスキル研修が実施されました。

ロータリー財団

医療備品の提供

ロータリー補助金を利用して、さまざまな医療備品が提供されています。

公共イメージ

- ロータリアンは世界各地で重要な活動を実施していますが、多くの人に知られぬままとなっています。
- 私たちは、重要なニーズに対してロータリーがどのように変化をもたらしているかについてストーリーを伝えていく必要があります。
- 地域社会そして世界を舞台にした人のつながり、ロータリーでの役割を担って得られた人としての成長、世界各地で好ましい変化をもたらした活動など、ロータリーには人に伝えるに値するストーリーが多くあります。

公共イメージ

- 会員として、私たちは全員、クラブや世界でロータリーが実施していることを推進する役割を担っています。
- 会員が自ら体験談を語ることによって、ロータリーがもたらしている影響に対する一般の人びとの理解を高めることができます。

ロータリーの公共イメージを向上させるシンプルな方法を次にご覧ください。

公共イメージ

- 自分が入会した理由やロータリーで楽しんでいることについて友人に話しましょう。
- ロータリークラブが地元で行っていることや、どのように活動に参加できるかについて家族や友人に伝えましょう。
- ロータリーのピンを着用し、会話を通してロータリーを紹介しましょう。
- ソーシャルメディアで、写真を使用してロータリーでの経験を紹介しましょう。

公共イメージ

利用できるツール

- 一貫した方法で生き生きとしたロータリーの体験談を紹介することで、ロータリーに対する認識だけでなく、ロータリーの活動に対する正しい理解を促進することができます。
- 体験談を効果的に伝えるために、ブランドリソースセンターにあるテンプレート、ロゴ、その他の素材をご活用ください。



お疲れ様でした

出典：ROTATY.org ラーニングセンター

2022年4月2日 国際ロータリー第2530地区
東北第一分区分会 新会員オリエンテーション

PDG 平井 義郎

【第二部】 新会員による発表

「講義を受けての感想やロータリークラブについて思うこと」

坂本 壮敏さん（福島 RC）

私は「中核的価値観」「奉仕」について日頃から意識しています。

例会には積極的に参加するようにしており、参加することで成長していきたいと思っています。



加藤 弘樹さん（福島 RC）

入会してみてロータリーは福島という「地」についてしっかり考えていることが素晴らしいと思った。その福島目線で活動するという事を仕事にも生かし、福島の発展に少しでも貢献したいと思っています。また、単身赴任の身にとって親睦活動はとてありがたいひと時です。



大槻 美恵子さん（福島 RC）

ロータリークラブについて何も知らないで入会しましたが、今では例会の日がとてもワクワクして待ち遠しくなっています。今日は誰に会えるのか楽しみになっています。今までの自分と違う自分を見つけるいい場所だと思います。みんなのためになることをやっていきたいと思っています。



高宮 優子さん（二本松 RC）

「奉仕」はまずは参加し実践することが大切なのだと思います。私は二本松駅が無人駅になってしまっている現状を何とかしなければいけないと思っており、さっそく駅前の花壇に花を植える活動をします。今後も自分なりに何ができるか考えて行きたいと思っています。



野地 哲也さん（二本松 RC）

入会して1ヶ月、まだロータリー活動についてよくわかりませんでしたが、本日の講義を行って本当に良かったと思いました。私は地域の「スポーツ（バレーボールチーム）」を通じて奉仕活動をしています。今後ロータリーについて勉強してもっと自分の活動に生かしていきたいと思っています。



渡辺 聡さん（二本松 RC）

40歳の節目にロータリーに入会しました。本日の講義で奉仕についてよくわかりました。私が実践していることは「落ちているごみを拾う」ことです。誰に褒められるわけでも、褒められたいわけでもありませんが日々これだけは意識して継続しています。



多田 憲司さん（福島中央 RC）

本日の講義を聞いて私の考えはまだまだ浅いと思いました。私は職業奉仕にとっても共感しています。「仕事を通して貢献する」ということが、私の考えと合致してます。日常の職業活動を通して、自分の職場の従業員、取引先の人達やその関係者、ひいては地域社会の人達の模範となっていきたいと思います。



梅津 一匡さん（福島西 RC）

例会で皆様の様々な意見を聞くことがとても有意義になっています。また、先日クラブ主催の少年野球大会がコロナ過ではありましたが、無事開催できたことが入会して一番の思い出です。自分の仕事も、地域への貢献も一生懸命取り組んでいきたいと思っています。



宮崎 秀剛さん（福島西 RC）

コロナ過での入会となりましたが、できるだけ参加しようと決め例会には積極的に参加しています。ご縁を大切にこれからのたくさんの「出会い（ご縁）」で、勉強していきたいと思っています。



渡邊 邦彦さん（福島 21RC）

60歳を過ぎ思うこと、このままでいいのか？仲間？周りの環境は？これでいいのか？そう思った時、ロータリーの皆さんにとってもお世話になったことを思い出して、再びロータリーに戻ってきました。奉仕は「継続」だと思います。積極的に参加し続けていこうと思います。



川島 利文さん（福島南 RC）

入会して最初の感想は、皆さん会社の代表が多い中、私のような代表でもない、一社員がいていいのか？という戸惑いがありました。ただ例会を通してお話していくうちに少しずつ打ち解けていきました。私は SAA として誰よりも早く来て皆さんを出迎えることを意識して実践しています。ロータリーの理念について勉強してこれから身につけていきたいと思っています。



半澤 一成さん（福島南 RC）

入会后、会員の皆さんには温かく接していただいています。そして例会では先輩方の奉仕についてのスピーチを聞いて日々勉強しています。「職業奉仕は何よりも自分の仕事をしっかりやることだよ！」とカウンセラーの方から言っただき自分の仕事をしっかりやるとともに、少しずつでも奉仕につながればと思います。



松山 敏博さん（福島南 RC）

私は、石にかじりついても参加しようと思って積極的に参加していますが、ふと参加することが目的になってしまっていないかと反省しています。これからは目的を持って例会に参加し、何かしら吸収し、それを会社に持ち帰ってみんなに広めていきたいと思っています。



渡邊 勝さん（福島南 RC）

職業奉仕については自分の仕事を生かして少しでも貢献して行ければと思っています。また、例会にはただ参加するだけじゃなく、自分から進んでお手伝いや、話をさせて頂く事を意識してみたいと思います。そしてロータリーについて勉強していきたいと思っています。



【講評】 国際ロータリー第 2530 地区 パストガバナー 大橋 廣治 様



講評ということでご案内をいただいたが、とんでもない、素晴らしいですよ。本当に入会して半年なのだろうか。一年なのだろうか。ロータリーの4つのテスト「真実かどうか」に抵触、そんな風を感じたぐらい素晴らしい新会員の皆さんであると思います。

東大よりも素晴らしい大学、それはロータリーであります。ハーバードよりも入るのが至難なロータリーではないか。厳しい試験の中で入ってこられた皆さん。心よりおめでとうと申し上げると共に心より歓迎を申し上げるところでございます。

その上、平井先生の世界一の講義を受けました。皆様におかれましては「真のロータリアンになられたな。」とそんな風に思うところでございます。

また、新会員の方々には素晴らしい発表でございました。皆さんはご自分でもってロータリークラブに入りたいと手を挙げて入られた方は一人もいらっしゃらない。先ほど申し上げたように推薦が無ければ入れない。あの人は人間性に問題があるよ。以前にこういうことがあったよ。ということで入れない方も私は知っております。そういう中で皆さんはご推薦をいただいて入ってこられた訳でありますので、是非、これから素晴らしいロータリアンに成長していただきたい。そして、地域貢献をやっていただきたいと、そんな風に思っておるところでございます。

「新会員オリエンテーション」宿題

ロータリーの友令和4年1月号に掲載された「CSR/SDGsの時代に考える職業奉仕」(2020年12月3日国際ロータリー第2580地区研修会:大阪学院大学経済学部教授 森田健司氏講演要旨)を資料として四つの質問を宿題として以下のとおり回答頂きました。

「CSR/SDGsの時代に考える職業奉仕」(一部抜粋)

江戸時代の商人道は、多様な経緯で形成されてきました。その中の一つ、石門心学は企業における道徳、CSRやSDGsを考える際、必ずや指針になると確信しています。ロータリーの職業奉仕を考えるときにも、ぜひ一考されてください。

商いの中に道徳があった江戸時代

今の大学で教える経営学では、いわゆる経営理念、あるいは企業が目指すべき道徳的な目標は、利益追求的な戦略の上位概念であると説明されています。しかし、江戸時代の思想を研究している私からすると、この考え方には非常に違和感を抱きます。そもそも商売は、貨幣が安定して通用する世の中でないと成り立ちません。この「安定的な」というのが非常に重要です。

「市田家家則」

今日のテーマの本質がこの文献にあります。第一条が重要で「御公儀よりの法度堅く相守り、御町内に対して無礼無き様、心得申すべき事」です。自分たちが界限、町内を守って身近なところからこの國を平和にすべきである。平和は日々の仕事の中で実現していく必要があるのだ、と主張している条文なのです。

現代の企業が江戸時代の商家から学べること

商人としての自分の行いが、果たして社会にどのような影響を与えるのか、その行為が社会の治安、あるいは、体制の向上にきちんと利するものなのか、ということを絶対に考えなければいけない、と自覚していたのです。公益の追求を「利益追求の上位概念」と思った瞬間に駄目であって、一番重要なことは「利益追求の中にある」ということを認識しなければいけないこと。

今の状態で最善を尽くすことが人生を前進させる

梅岩は、現在の自分の形が心を作っているのも、まずはその形を受け入れるべきと説きます。今の状態というもののうち、最善を尽くすことが人生を前進させるとも言っています。

質問1

「CSR/SDGsの時代に考える職業奉仕」をお読みになって率直な感想をお聞かせください。

質問2

ご自分の企業や事業所で社是や企業理念を掲げていますか。形として掲げていなくてもそれと同等の思いがあればお聞かせください。

質問3

立派な企業理念を持っている大企業や老舗の事業所においても、偽装などの不祥事が絶えないのは何故だと思いますか。思いつくままにお書きください。

質問4

最後にあなたはロータリーにどんなことを期待しますか。

質問1. 配布資料「CSR／SDGsの時代に考える職業奉仕」をお読みになって率直な感想をお聞かせください。

回答

- ロータリーの目的にある職業奉仕という言葉に共鳴しています。これからも社員と共に、仕事を通して地域社会への貢献、還元、恩返しを目指し、職業奉仕の実現に努力していきます。
- 企業活動にとっての道德について詳しく書かれており、商業の大前提は「平和」であると明記されています。社会が安定的であることが前提条件であるにも関わらず、今なお戦争を始めプロパガンダにより自国の行為を正当化する一国の指導者が存在することに驚愕しています。そんな憤りを持ちつつも、今の状態の中で最善を尽くすことが人生を前進させるという梅岩の言葉通り、心穏やかに何事にも真摯に取り組んで行こうと思いました。
- 大変勉強になりました。私も、以前から、社会貢献と利益の追求が別のものと捉えられることには違和感がありました。公益の追求は利益追求の中にあるという言葉も大変感銘を受けました。SDGsの考えにも通じますが、社会課題を事業を通じて解決することができれば、社会課題はとて多くお困りの方もたくさんいるので、人口減少社会でも仕事がどんどん増えて、社会貢献と利益の追求を両立できるのではないかと思います。
- 森田健司教授の講演要旨の中で「社会の安定が無ければ、いくら個々の企業や個人（経営者）だけが儲かってもダメだ」という見解に強く共感した。確かに、社会弱者が多くなれば、そこに国家予算をより多く投入せざるを得なくなり、国の成長やそもそもの国力が減退する。そうすると豊かな日本の生活基盤を維持していけなくなってしまう。これからはアメリカでもそうであるように、個々の企業は、株主・従業員のためだけでなく、地域や社会に対し貢献していかなければ、淘汰されていってしまうのではないかと思う。
- 商業の大前提は「平和」であり、それを常時意識する必要があるという点に納得させられました。これまでビジネス社会では「競争」という言葉は良く耳にしてきましたし、「競争」に勝つためにはどうすればいいかという視点で考えるのが当たり前に染みついていました。企業は様々なステークホルダーに対して責任を果たす中で、「競争」ではなく「平和」を意識することが今後の企業経営に必要なようになっていくと感じました。
- 梅岩の『齐家論』の中に商業の大前提は「平和」であり、それを常時意識する必要があると論じられていました。ロシアによるウクライナ侵攻の不条理と恐怖を感じる世の中ですが、「公益を常に考えられるような精神状態をつくる」ことが大事という梅岩の教えに大変感動しました。事業主としての行為が社会の治安、体制の向上に利するものを常に意識してCSRやSDGsの実践と【平天下】に寄与できる職業奉仕に励みたいと思います。
- 一度読んだだけでは理解が進まず、数回読み返しました。平井義郎パストガバナーの講義を受けた後に読み返した際、ふと奉仕の理想の歌詞や四つのテストが浮かびました。平和であることが前提であるという記述については、「望むは世界の久遠の平和」。石門心学については、「みんなに公平か」「みんなのためになるかどうか」と脳内変換され、理解を深めることが出来たのではないかと考えます。
- 江戸時代の生活には道德があり、地産地消がありました。SDGsのサステナブル（Sustainable）は、sustain（持続する）とable（～できる）からなる言葉であり、「持続可能な」「ずっと続けていける」つまり継続するという意味があります。商いの中で「職業奉仕」がありますが、これは現代においても変わりません。これからも軸を崩さず、変化に対応しながら継続して前へ進んでいく所存です。

- 当たり前のことですが、本文中にあった「公益を目指し商いする中で儲かるというのは、自分が社会に対して奉仕し、社会に貢献したことの何よりも明確な証明となります。」を見て、改めて感じた商いの成功は結果的には地域社会への奉仕になると実感しました。

- CRS/SDGs の時代に考える職業奉仕をよんで、ふと思い出した言葉が、弊社のトップページの内容に書いてある下記の内容でした。

企業が顧客から継続的に商品やサービスを購入してもらい、友好的な関係を築くには、顧客に「価値ある企業の商品やサービスだ」だと感じてもらうことが重要だとコトラーは述べています。いわゆる顧客価値の創造です。

私は人や企業に寄り添って生まれるサービスを追求した結果が、人を生かし売上につながって利益をもたらすことになるかと常日頃から考えています。つい利益追求型で事業を進めると失敗します、そこには従業員はもとよりクライアントとも友好的な関係が続きません、それで私は何度も失敗を繰り返しています。大事な従業員もクライアントも失ったことも幾度もあります。

経営者にとって大事なものは「心のおきどころ」です。ロータリーの4つのテストはそのものだと強く感じます。職業奉仕は利益追求と同時に動かさなければいけないと思います。後も先もなく、相手にとって何が大事なのかを考えることだと思います。

以上思いつくまま感想を書かせて頂きました。とても良い内容を読ませて頂きました。ありがとうございました。まだまだ行動に移れず、毎日が不安の連続です。ウクライナ問題も未だに募金をどうするか考えているくらいの人間です。

今後もロータリアンとして色々学ばせて頂きますので宜しくお願い致します。

- まず頭に浮かんだ事は主人のことでした。主人は、長年日本青年会議所（JC）でいろんな奉仕活動をしてきました。

当時は、JC 活動で家を空けていることが多く、「他人に奉仕する前に、家に奉仕しろ！」と、JC 活動を理解することができませんでした。しかし、その奉仕活動が 社会の安定、商業の大前提である平和につながっていた事を学びました。今やっと主人の活動に理解でき、今後は私も平和へのお手伝いをしていきたいと思いました。

- 大きな話となりますが、人類が今日の繁栄を成し遂げたのも日々の仕事や経済活動によってだと思っているので、地球に環境破壊等の問題を起こす原因の一部に我々の日々の仕事があることは否定できないと思います。職業が地球環境に問題を起こす要因になっているのならば、持続可能な社会を実現することにも職業というものは重要ではないかと思いました。

- CSR、SDGs については数年前から聞くようになった言葉で地球環境やより良い環境で後世に引き継ぐ取組を今見直さなければならぬと思っ自分なりに取組をしておりました。

しかし、平和や公益を追求した考え方までには到達していませんでした。今回この文章を読んで、まずは地域の平和と公益性に貢献できる会社を目指していきたいと思います。

質問2. ご自分の企業や事務所で社是や企業理念を掲げていますか。形として掲げていなくてもそれと同等の思いがあればお聞かせください。

回答

- 掲げています。
「共進の使命・目的」
使命：人に役に立ち、喜んでいただく
目的：お客様と共に私たちも幸せになる
- 私どもこころネットグループでは「私たちは、人々の『こころ』に満足と安らぎをもたすサービスを提供する。」をグループ理念として掲げています。冠婚・葬祭・墓石など人生に関わる高品質のサービスを提供することで、社会に貢献し人々に幸せになっていただきたいという思いが込められています。お客様の喜ぶ顔が見たい、また次もお願いしますねと言う感謝の言葉をいただくことが、最大の喜びだと思っています。
- 事務所の経営理念は、「全所員の物心両面の幸福を追求するとともに、真心を込めたりーガルサービスを通じて自信と希望を持つお手伝いをする」としてしています。私は、身体が不自由なこともあり子どもの頃から自分自身に自信や希望を持っていないことが多く、なんとか変わりたいと思って生きていました。だからこそ、弁護士の仕事を通じて、お客様に自信と希望を持ってもらいたいと思って仕事をしています。
- 農林中央金庫は、『持てるすべてを「いのち」に向けて』とのパーパスを掲げ、ステークホルダーとともに、農林水産業を育み、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していくことを目指している。こうした企業理念を、マーケット運用セクションで働く職員も含め全役職員が共有し、日々この理念を常に認識しながら業務にあたることとしている。トップである理事長からも都度繰り返しその思いが発信されている。
- 我々の会社でも経営理念及び行動規範を掲げています。お客様、同僚、社会に対して責任を果たすための行動指針となるものです。その中には「持続可能な社会への貢献」ともありますが、日々の業務の中で完全に浸透して意識できているとは言えません。しかし、各部署がそれぞれのSDGsの取り組みを独自に行い社内のイントラネットで共有する仕組みがあり、それには各部署が積極的になっています。
- 自社の経営理念は3C【Continue(継続) Colorful(個性豊か) Cordial(真心)】です。私が5年前に作りました。Continueするからこそ出会える熟練の価値に出会うまで諦めない！Colorfulな輝きをありのまま受け入れ、認めあって成長しよう！Cordial溢れる接遇を出来るよう目の前の人と向き合い、今できる精一杯のことをしよう！以上わが社の企業理念3Cです。職員に説明するとき3Cはシンプルで伝わりやすいので大変気に入っております。
- 私自身にとって、社是や企業理念は政治スローガンと置き換えられると考えます。「医療・福祉の充実 安全なまちづくり」をモットーに職責に取り組んでおりますが、多くの方のご意見をお聞きしながら、住みよい地域づくりにつなげていく事が求められますので、職責=職業奉仕・社会奉仕ともいえるのではないかと考えております。
- 「せっかくのご縁をよっぽどのご縁に」※ 弊社の社是です。誰かの影響でこの位置にいます。この仕事をしています。夢を持つことができます。私たちの人生には必ず誰かが関わっています。一方で「一期一会」という言葉があります。その時そのときを精一杯生きること、忘れた頃にまた巡り合えるかもしれない、何処かで見ていてくれるかもしれない…。最初のきっかけである「一期一会」、その「せっかくのご縁」を「よっぽどのご縁」にどれだけ繋げられるかが、大切なのではないかと考えています。

- 弊社は「正直にまっすぐ我武者羅に」、
「不動産と住まいを通じて1人でも多くの方にワクワクと笑顔をお届けする」
上記二点を企業理念としています

 - 経営理念
 1. 料飲接客サービスを生業として、地域の食文化と伝統の継承。そして接客のプロを育成します。
 2. 人を活かしてこそ事業の安定につながります。従って地域雇用の促進と、やりがいのある仕事を創造し続けます。
 3. 会社は、従業員の豊かな生活と、人間としての成長を目指し、従業員と共に、あらゆる努力を続けます。
- 行動指針 (Action agenda)
- 基本方針 Clients come first 優先順位はお客様である「お客様最優先」
「何をすれば、お客様の為になるのか？」
「何をしなければ、お客様の為になるのか？」
「仕事には二人のお客様がいる事を忘れずに」
「仲間も大切なお客様である事を忘れずに」
- 従業員全てへ
ビジネス力のある者は「課題を発見する力」と「課題を解決する力」で決まる
チームワークを大切に「仲間との信頼関係を築く」
与えられた仕事は責任を持って完結せよ。そして「報告・連絡・相談」
- 真のリーダーへ
「約束を守る」、「自ら仕事を作り出す力」
「レベルの高い方が苦勞するのは宿命である」
「出来る為に全力を尽くす」
- 役職者及び役員へ
世の中は覚悟を決めた者に幸せがある
「物事は覚悟を決めて進むべし」そして「スピードである」
- 弊社では、社是はありませんが、私自身清水英雄さんの詩の「あきない」をモットーにしています。なかでも「笑売」を大事にし 無邪気で明るく人間本来の笑顔で、心の余裕、心の豊かさを持ちどんなお客様に対しても同じように敬意をもって接するようにしています。
そして、感謝の気持ちです。皆様と出会えた事も、私をロータリーに導いてくださった方のお陰であり一期一会に感謝し 皆様と一緒に活動に励みたいと思います。

 - 企業理念は存在しますが、全く表に出てきません。他社の企業理念に比べて弊社の企業理念の独特なところは「自分たちらしく」なる文言があることです。これには自分も共感するところで、オリジナリティのみではなく、自分たちの強み、をとらえそれは社会に奉仕していくにあたって、必要なことだと考えます。

 - 企業概念はありません、ただお客様の満足を追求して仕事には取り組んでおりました。次目指すのは社員を取入れ社会貢献を推進していかなければいけないと考えております。

質問3. 立派な企業理念を持っている大企業や老舗の事業所においても、偽装などの不祥事が絶えないのは何故だと思いますか。思いつくままにお書きください。

回答

- 何故でしょう。当初は持っていた使命感を忘れた結果なのかもしれません。自分が間違っているかもしれない、という謙虚さが薄れた結果なのかもしれません。
- なるべく軽傷で済まそうという気持ちが優先されているからだと思います。そのため被害者や損害を被った消費者への対応が後回しになり、企業への不信感が募っていくのだと思います。不祥事対応で私が最も感心したのは、ペヤングでお馴染みのマルカ食品。2014年のゴキブリ混入事件後、再開よりも信用回復を選択し、全商品を回収し半年間すべての工場を休業。徹底的に衛生環境を改善させたことでイメージ回復とV字回復を図っています。
- いつの間にか、実際の経営の目的が、「利益の追求」になってしまっているからだと思います。利益の追求は、経営が継続し、会社に関わる人々が豊かになるために必要不可欠な大事な条件であり、目的を達成するための手段だと思いますが、経営の目的ではないと思います。経営の目的が利益の追求になってしまうと、どんな手段を使ってでも利益が上がればよいことになってしまい、不祥事が発生してしまうと思います。
- 日本の敗戦により、戦後、アメリカの「個人主義」思想が一気に入ってきたことで、ドラスティックに、日本の伝統的な家長制度や道徳教育などにとって代わる作用をしたように思う。それにより、個人主義で「自分のために何をしても許される」といった一方的な考えが浸透していったことが、利害関係者や組織の存在等への影響等に思いが至らず不祥事を起こしてしまう地盤を作ってしまったように思う。
- 商業の大前提は「平和」であるという観点から考えると、不祥事の原因にはやはり「競争」があると思います。そこには同業他社との「業界における競争」だけでなく、「社内での競争」も存在している会社が多いのではないのでしょうか。立派な企業理念を持ちながらも規模を拡大するビジョンなどから次第に競争が激化してしまい、不祥事につながっていくケースがあると思っています。
- 偽装や不祥事は本来、性善説から考えれば、教育が不十分な結果と捉えることが自然かなと考えます。大企業や老舗の伝統も時代の変化の中で手を加え、工夫を重ね、またくり返しその理念を引き継ごうとする意志が大事だと思います。教育とは時代の変化に順応しながら、繰り返し繰り返し徹底的に伝えていくことが必要不可欠だと思います。もちろん大変困難で手間がかかる事だと認識しております
- 守るものが今の立場において変わってくるからではないのでしょうか。「伝統」を守ろうとして「偽装」してしまう。企業のスタート時の想いが、時代と共に忘れてしまう。それが不祥事だと思います。
- 理念に利益の追求のみを掲げる企業はほぼないと思います。少なからず社会全体への利益や社員の幸福を掲げられていると思います。それらを考えれば、偽装などの不祥事は公共の利益は生みません。信用の失墜にも繋がります。一概に言えませんが、原点である企業理念等について、経営者を含め社員一人ひとりが忘れてしまっている、また理解が不足している、それらを考える機会がないなど様々な要因があるのではないかと考えます。
- 偽装をしたくて、偽装をしている人はいません。

ただし、強すぎる指導者や経営者などがいる限り、無くなることはないと思っています。現場の人間と管理側の人間、最終目標は同じでも向かう道順が違うために、行き違いが起きたり、優先順位が違ったりしてしまうため起きてしまっていると思います。

- 私の会社も偽装請求で問題を起こした社員がいました。理由はわかりませんが、本人の今までの環境に問題があると思いますが、企業において、その人を更生できなかったことも悔やみます。社内のコミュニケーション、待遇 等々色々ありますが、社員教育が十分でなかったことが一番問題であると感じます。
- 資料の文面にもありましたが、利益追求的な上位概念が強くなってしまうと道徳的なものが見えなくなってしまうのではないのでしょうか。会社が一丸となる事はとても良いことだと思いますが、思考に偏りができてしまい間違えている事に気が付かない事も原因の一つだと思います。長いものに巻かれない、発言しやすい環境づくりが再発防止になるのと考えます。
- 企業理念が後継者に伝わっていないため。先代の掲げた思い、目的や方向性が企業の中核を担う人間に落ちていないから。
- 利益を追求すればするほど不祥事が起こるのだと考えます。しかし、だいたい社長や幹部の気の緩みや考え方の甘さが不祥事につながっていると考えます。

質問4. 最後にあなたはロータリーにどんなことを期待しますか。

回答

- 社会貢献に関して、私に出来ることを応援していきます。
- 会員の殆どが企業経営者の方々であり、一般従業員と呼べる方は僅かです。その理由ですが、経営者の方は豊富な実績と知識をお持ちであること、またロータリーで学んだことを即経営に反映できることが大きいと思われませんが、それゆえ一般従業員の方々は入会しにくいように感じます。ぜひ企業経営者でなくとも入会しやすいような環境整備が図られますことを期待しております。
- ロータリークラブに入会して、私は今まで受け取ることばかり考えて生きてきたと気付きました。奉仕という言葉は自分には何か縁が遠い言葉だと思っていましたが、先輩会員のスピーチを聴くなどの機会により、自分にできる奉仕とは何か、少しずつ考えるようになりました。今後もロータリーに参加して、先輩会員のお話を伺い、奉仕の理念、特に職業奉仕について学ばせていただきたいです。
- 引き続き、ユニークな方法で地域社会の課題に取り組む様々な企画を打ち出していただきたい。また、地域社会に変化をもたらすような奉仕活動を提案いただきたい。そうしたなかで、国民の大多数には、ロータリーの存在や活動に対する認知度がまだまだ低いように思う。是非とも、広報・PR活動にもこれまで以上に力を入れていただきたい。
- ロータリーを通じて職業奉仕の精神を磨き、自分自身の業務においても奉仕という中核的価値観の軸がぶれることがないようにしたいと思います。地域貢献、社会奉仕などの活動に積極的に参加させて頂き、自らの奉仕の精神を成長させていきたいと考えています。
- 市田家や塚田家による修身や齊家の決意によって、平和への感謝と、その維持が自らの仕事と人生を利するものだと教えられました。ロータリーの掲げる職業奉仕との関連も

深いと感じます。どんなことにも真摯に取り組んでいる先輩ロータリアンから多くを学んでおりますし、私も勇気と覇気を以て職業奉仕に励みたいのです。今の私はロータリーに期待するものというより、すべてを与えて下さるロータリーの恩に報いたいと思っています。

- 入会以降、社会奉仕などの各活動を通じ、今まで以上に様々な気づきを持つ事が出来ています。今後も、単に交流を図るのみならず、自己研鑽・切磋琢磨できる良好な関係性を皆さんとつくればと思っております。
- 全ての企業や団体は、スタート時に理念を持っています。ロータリーは、変化をもたらす事を望み、末永く続く友情を築き、自らも成長を遂げ、つながりを築き、変化をもたらす機会、この新会員セミナーにてこう学びました。ロータリーも同じだと思います。機会（きっかけ）ですので、自らがこれを受け止めなければ成長はありません。後で振り返った時に「入会して良かった」、そう思えるように まずは参加し学びたいと思います。
- ロータリーに入るまでは何をしている集まりかわかりませんでした。SNS などを利用したりメディアを利用して、どんなことをしているのか発信しても良いかと思えます。
- ロータリークラブに入るまで悩みました。再入会なのですが前回はお付き合い的な感じがありましたが、今回は会社の責任者としてロータリーの皆さんに常にチェックされてる気持ちで、今後も色々勉強させていただきます。今現在の気持ちがそうなので期待することなどの意見はありません。
- 「木を見て森を見ず」女性の多くは目先のことに気をとられがちで、私もそのうちの一人です。入会を機にいろんな方と交流を深め、森を見られる女性になれたらと思います。また、今までの私の様に、奉仕活動に理解しがたい女性（奥様）に一人でも多く奉仕活動が平和・社会貢献に繋がる事を伝え、奉仕活動に参加できなくても、活動に理解を持ち自分にできることを考えられる女性を一人でも多くしていきたいと思えます。
- 人として真っ当な人間に育ててもらいたい。
- 入会させていただいたばかりで期待する事が思い浮かびません。

新会員の皆様お疲れ様でした。

また、ご協力頂きました全ての方々に感謝申し上げます。

RID2530 県北第一分区分新会員オリエンテーション参加者名簿

【新会員】

クラブ名	会員名	クラブでの役職	入会歴	備考
福島	坂本 壮敏	情報小委員会委員	1年	
	加藤 弘樹	親睦小委員会委員	1年	
	大槻 美恵子	青少年奉仕委員会委員	1年未満	
二本松	高宮 優子	会員増強委員	8ヶ月	
	野地 哲也	奉仕プロジェクト委員	1ヶ月	
	渡辺 聡	奉仕プロジェクト委員	1ヶ月	
福島中央	多田 憲司	会員増強委員・親睦活動委員	1年	
福島西	梅津 一匡	親睦活動小委員会委員	2年2ヶ月	
	宮崎 秀剛	公共イメージ委員会委員	1年7ヶ月	
福島21	渡邊 邦彦	青少年奉仕委員会委員	9か月	
福島南	川島 利文	会場監督補佐	9か月	
	半澤 一成	クラブ会報委員会委員	9か月	
	松山 敏博	職業奉仕委員会委員	2年9か月	
	渡邊 勝	スマイリングボックス委員会委員	9か月	
小計	14			

【バスターガバナー、ガバナー補佐、ガバナー補佐予定者】

クラブ名	会員名	役職	備考
	大橋 廣治	バスターガバナー	
	平井 義郎	バスターガバナー	講師
小計	2		

【上記以外の参加者】

クラブ名	会員名	役職	備考
福島	丹治 正博	情報小委員会委員長	
	吉田 大樹	会員増強委員会委員長	
二本松	鈴木 安一	会長	
	安齋 淳	幹事	
	鈴木 一弘	会長エレクト	
福島中央	佐藤 義晃	副幹事	
	山田 稔	親睦活動委員	
	佐藤 元彦	会長エレクト	
福島西	桃井 三夫	幹事	
	今野 朗	会長	
	佐藤 宗弘	ガバナー補佐	
	佐藤 卓立	分区分区幹事	
	黒澤 信之	分区分区幹事	
	高橋 智弘	会長	
	相澤 隆	幹事	
二本松あだたら	阿部 佳文	会長	
	菅野 守芳	幹事	
	橋本 哲弥	副幹事	
福島21	藤野 圭史	会長	
福島南	野崎 正広	幹事	
	一條 浩孝	会長	
	赤間 浩一	幹事	
	安齋 常克	国際奉仕委員長	
	菊地 和宏	副会長	
	齋藤 弘之	親睦活動委員長	
	穴戸 隆司	副幹事	
	鈴木 光一	会員増強委員長	
	林 克重	未来計画委員長	
	廣澤 俊樹	ロータリー情報教育委員長	
	松崎 弘昭	直前会長	
	吉田 和義	SAA	
	渡邊 正義	会長エレクト	
	高橋 勇雄	副会場監督	
小計	33		
合計	49		

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。
具体的には、次の各項を奨励することにある

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および、社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

本日は RI2530 地区東北第一分区新会員オリエンテーション
ご出席頂き、厚く御礼申し上げます。

ホスト 福島南ロータリークラブ
会長 一條 浩孝

2021-2022 年国際ロータリー第 2530 地区 東北第一分区新会員オリエンテーション 出席報告

ご芳名 _____

所属クラブ _____

職業分類 _____

ロータリーの役柄 _____

令和 4 年 4 月 2 日
ホスト 福島南ロータリークラブ
幹事 赤間 浩一



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ

RI2530 地区 県北第一分区2021-22 年度
「新会員オリエンテーション」報告書

2022年4月2日(土) 14:30～ 「ケーラーリアンテ」

ホストクラブ：福島南ロータリークラブ
(県北第一分区)